【草加市地域公共交通計画概要版（公共交通の現状と課題、上位関連計画を踏まえた基本方針等の設定）】

上位・関連計画

（まちづくりの根幹となる計画）

■第四次草加市総合振興計画

将来都市像：快適都市～地域の豊かさの創出～
基本的要素：安全と安心・・・人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
（抜粋）
①良好なまちづくり
（4駅と各地域の拠点とがそれぞれ結びつきながら補い合う都市構造へ転換し、だれもが快適に暮らせるまちづくりを目指す）
②安全で円滑な交通
（幹線道路や生活道路などの整備、安全に人が歩ける歩行者空間の形成、持続可能な公共交通網の構築、自転車などが利用しやすい環境づくりを目指す）
③安全性の高いまちづくり
防犯、交通安全の対策など、安全で安心なまちづくりに取り組む

■草加市都市計画マスタープラン2017－2035

将来都市像：快適都市～地域の豊かさの創出～
将来都市構造：①核や拠点の形成
（4駅を中心に商業業務などの核を形成する）
②軸やネットワークの形成（核や拠点、主要公共施設などを結びつけるため、鉄道・主要道路などにより、軸やネットワークを形成する）
③計画的な土地利用の方針(市街化区域については良好な土地利用を図るとともに、市街化調整区域については、自然環境と調和のとれた計画的な土地利用を目指す）

※令和6年度改訂予定

（関連する計画）

[都市計画関連]
・草加市立地適正化計画
[観光関連]
・草加市観光基本計画
[安全安心関連]
・草加市交通安全計画
[環境関連]
・草加市環境基本計画
[福祉・子育て関連]
・障がい者計画
・障がい福祉計画
・障がい児福祉計画
・高年者プラン
・草加市子どもプラン

実態把握の調査結果

（参考基礎資料）
・草加市統計データブック
・パーソントリップ調査
・国勢調査
・公共交通アンケート調査
など

現状整理

草加市公共交通を取り巻く現状

■地域特性にみる現状

①今後市内人口は減少し、高齢化率は年々増加する見通し
②駅から離れたエリアに高年者が多い地域が見られる
③公共交通が利用しやすい地域に夜間人口の9割が居住
④市内在住者の通勤先は市内よりも都内が多い
⑤幅員4m未満の生活道路が多く残っている

■まちづくりの進展・道路整備の視点（潜在需要）

①獨協大学前＜草加松原＞駅西側エリアの商業・住宅の開発
②新田駅東西口土地区画整理事業の進展
③都市計画道路の整備進展
④市北東部スポーツ推進地区等の整備推進
⑤鉄道新線等の整備

■公共交通の現状

①路線バスは駅へのアクセスを中心として系統数・便数ともに多く、市内のタクシー事業者も多いことから、公共交通ネットワークは充実しているものの、各事業者では働き方改革の推進、運転士不足などの課題に直面している
②新型コロナウイルス感染症の感染拡大や新しい生活様式定着の影響により、鉄道を始めとした公共交通の利用者が減少している

上位・関連計画を踏まえた基本方針の設定

基本方針

■将来にわたって持続可能な公共交通の形成

近年の公共交通を取り巻く環境の変化や今後の人口減少等を見据えながら、市民の生活の足を支える公共交通を維持・確保していくために、公共交通事業者・行政・市民やNPO、企業等の地域関係者が協力、連携した取組を進めます。

■誰もが移動しやすい公共交通環境の推進

運転免許証を返納した高年者や、若者、子育て世代等の誰もが安心して移動しやすい交通環境の構築を目指します。

目標

目標1
現状の公共交通の維持・再編

目標2
地域で支える仕組みづくりの構築

目標3
地域に適した移動手段の確保・連携

目標4
利便性の高い公共交通サービスの構築

目標達成のための施策

①バス・タクシーの運転士の確保
②バス路線の維持・再編
③コミュニティバスの改善・利用促進
④協議会の発展
⑤地域と連携したモビリティマネジメント
⑥新たな公共交通システムの導入促進
⑦新しい移動手段の導入検討
⑧多様な輸送資源との連携検討
⑨わかりやすい情報の発信
⑩鉄道駅バリアフリー化の促進
⑪鉄道・バスとの連携強化
⑫バス車両のバリアフリー化の促進
⑬タクシー車両のバリアフリー化の促進
⑭交通のシームレス化を図るMaaSや定額制サービス

課題整理を踏まえた目標の設定

課題抽出

地域公共交通の課題

課題1　高年者の移動手段の確保
課題2　様々な移動手段の連携・役割分担による、多種多様な移動ニーズへの対応
課題3　まちづくりの進展等に合わせた公共交通ネットワークの再構築
課題4　持続可能な公共交通ネットワークの構築